竹原市シルバー人材センターだより５月号

★現在募集中の就業情報★

1. 剪定（初心者でやってみたいと思われる方でも大丈夫です）
2. 草刈り希望の方
3. 草とり希望の方
4. 高齢者施設の下膳･シーツ交換･片付け･洗濯たたみ等(女性･ハートフル)･･･夕方 3H
5. 食器洗い･･･17：30 ～ （土･日･祝 可能な方） 週３日ぐらい

興味があり、やってみたいと思われる仕事があれば説明しますので、
遠慮なく事務局まで連絡下さい。

事務局からのお知らせ

◎５月に送付した議案書の表紙に抽選券を添付しています。
事務所に“当選番号”を貼り出していますので、
必ず抽選券を持っておこしください。

令和５年度の会費を未納の方は、会費と一緒に
ご持参ください。

安全就業に努め「安全・安心」なシルバー事業の展開を図りましょう

先月、庭木のせん定作業中に脚立から落下し、入院加療していた会員が亡くなられました。シルバー事業は、高年齢者が健康で安心して「働く」ことを通じて生きがいを得るとともに、地域社会に貢献していくことを目的としており、このことからも日頃から安全就業に対する意識の高揚を図ることが重要です。

当センターでは、このような重篤事故の撲滅と就業形態の適正化を図るため、７月を「安全・適正就業強化月間」と定め、安全・適正就業対策の一層の推進を図ることとしました。

会員の皆さんには、「就業前、就業後の安全意識等の徹底」「機械器具の点検と整備の徹底」「安全保護具の点検と整備の徹底」「就業途上における交通事故の防止」など、日ごろから安全対策に取り組んでいただきますようお願いします。

全国統一安全就業スローガンが決定しました

令和５年度から令和７年度までの全国統一安全就業スローガンが決定しました。

「安全は　無理せず　焦らず　油断せず」

			5	4	8			
	4	9				2	8	
	8		2		7		6	
		3		7		1		
9	2						7	3
4	1						9	8
		4	6		9	7		
7			4		1			6
1	5	6				8	4	9

2	6				5	8	9	
9		1		2	8			
	7	8	6					
		5	8	3		7	4	1
	8		4	1		5		9
4	1							
8			2	5		9		
1			7					3
			9	4			8	

問題を読んでマスにあてはまる文字を入れましょう。A～D をつなげてできる言葉は？

1 E	2	■	3		4
5		6	A	■	
	■		■	7	
■	8	D			■
9 C			■	10	11
12		■	13 B		

A	B	C	D	E

答えをご持参の方粗品進呈
６ 月 １９ 日以降にご持参ください
提出･受取りは会員さん本人に限ります

タテのカギ

1. 争いをやめて仲直りすること
2. 花を生けるうつわのこと
3. 調子に乗って度を越すことを「〇〇を外す」という
4. 伊豆諸島で作られる独特の臭気のある干物
6. 休日が平日を挟んで続くことを〇〇〇〇連休という
7. アパート等の借主が貸主に渡す保証金
8. 茶道で使う和紙
9. 正月に飲む祝い酒
11. 見識の狭いことを「〇〇の穴から天をのぞく」という

ヨコのカギ

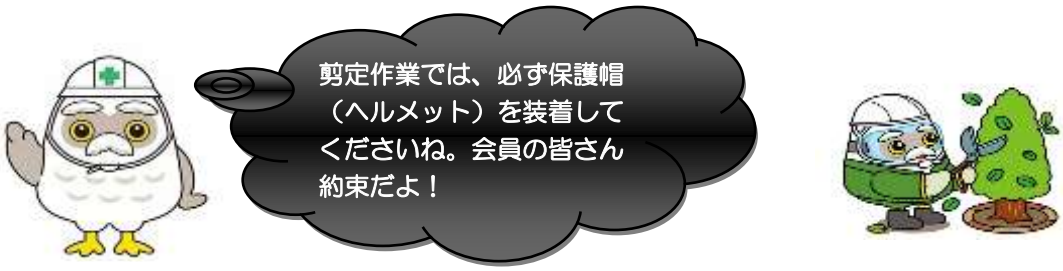
1. 31 音を定形とする短歌のこと
3. しっかりと理解すること
5. 簡易、現金、一般の三種類があります
7. 目に見える範囲
8. 綿入りの夜着
9. 刃物や石材を研ぎ磨く石
10. 他の国の国籍を取りその国の国民になること
12. さまたげて、はばむこと
13. 報いるべき義理がある恩

名　前＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

№１９２　　２０２３年５月

安全就業ニュース

公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会



令和４年度　重篤事故とその推移について

１　重篤事故の推移

表１のとおり令和４年度の重篤事故の件数は２９件で、昨年度の３９件から１０件減少となり、過去最低だった平成２８年度の２８件に次ぐ結果となりました。就業中の事故は１９件で、昨年度の２７件から８件減となり、就業途上は１０件で、昨年度より２件の減少となっています。

死亡事故は、就業中１５件、就業途上５件の計２０件で昨年度２６件から６件の減少となり、６ヶ月以上の入院は就業中４件、就業途上５件の計９件で、昨年度から４件の減少となりました。昨年度２０件であった就業中の死亡事故が５件減の１５件となりましたが、相変わらず植木の剪定、樹木の伐採等での墜落・転落等に遭わないように注意する必要があります。

表1　（重篤事故＝死亡又は６カ月以上の入院）

区分／年度	就業中			就業途上			総件数		
	死亡	入院	小計	死亡	入院	小計	死亡	入院	合計
30 年度	29(3)	8(1)	37(4)	14(4)	2(0)	16(4)	43(7)	10(1)	**53(8)**
元年度	12(0)	9(1)	21(1)	6(1)	10(2)	16(3)	18(1)	19(3)	**37(4)**
２年度	14(0)	12(0)	26(0)	13(5)	2(1)	15(6)	27(5)	14(1)	**41(6)**
３年度	20(0)	7(0)	27(0)	6(3)	6(1)	12(4)	26(3)	13(1)	**39(4)**
４年度	15(4)	4(0)	19(4)	5(2)	5(0)	10(2)	20(6)	9(0)	**29(6)**

(　)の数字は女性で内数

２　令和４年度重篤事故の分析

（１）就業中の事故

表２－１のとおり、就業中の事故の約６割が「墜落・転落」であり、毎年度高い割合で推移しています。中でも植木剪定、樹木伐採等における墜落・転落の事故が７件と多く、保護帽、墜落制止用器具（安全帯）を着用していれば大きな事故にはならなかったと悔やまれますので、必ず着用するようにしてください。

また、令和４年度は清掃中に転倒もしくは階段から転落して亡くなるなどの事故が３件起きています。作業現場の確認、講習受講の確認、機械の整備、複数人での作業、手順書等の作成、保護具の着用等を徹底し、安全が確保できない場合は、請け負わないようにしてください。

表２－１　令和４年度重篤事故の分析－就業中－

事故の型	事故の内容	事故件数			
		死亡	入院	合計	比率
墜落・転落	植木剪定、樹木伐採等における墜落・転落	6	1	7	
	樹木の雪囲い作業中、三脚から転落し、頭部骨折など	0	1	1	
	急斜面の狭い階段の清掃中、階段から転落し、死亡　　河川敷の清掃作業中、階段で転倒し転落、頭蓋骨骨折、脳挫傷	1(1)	1	2(1)	
	雨避けを取り付けようとして御簾をフックに掛け、5段脚立から降りる際に足を滑らせ転落、頭を強打し、後頭部骨折等	0	1	1	
	脚立を借り、玄関のガラス戸の拭き掃除中、転落、転倒したと思われ、鈍的心損傷による心タンポナーデにより死亡	1(1)	0	1(1)	
計		8(2)	4	12(2)	63%
転倒	床拭き掃除中、倒れているところを発見され、4，5分会話したがその後意識を失い、急性硬膜下血腫で死亡	1(1)	0	1(1)	
計		1(1)	0	1(1)	5%
切れ、こすれ	4尺三脚の下から2、3段目に上がり、チェーンソーを使い首の高さくらいで枝落とし作業中、キックバックを起こし、刃が首の左側に当たり左頸動脈切断により死亡	1	0	1	
計		1	0	1	5%
交通事故	マンション住人が駐車場から車両を発進させ道路を左折しようとしたところ、T字路左側の除草作業をしていた会員に気づかす左折し、左側後輪に巻き込まれ死亡	1(1)	0	1(1)	
	公園管理就業中、道路を挟んだ向かいのグランド見回りのため自転車で横断歩道を渡っていた時、軽自動車にはねられ頭部殴打し死亡	1	0	1	
計		2(1)	0	2(1)	11%
その他	午後2時間、屋外で児童通学案内に従事し、帰宅後、熱中症のため自宅にて死亡 1時間単位で休憩を取りながら3名で除草作業をしていたが、30分後に会員が前屈みで倒れている状態を他の2名が発見、熱中症により入院し、一時リハビリ病棟に移り快方へ向かっていたものの容態が急変し死亡	2	0	2	
	草刈り作業中、石垣内の草取り作業に入ったところ蜂に刺され意識を失くして倒れたが、他の会員は蜂に刺されたことを知らず熱中症を疑い体を冷やし、救急車を依頼したが、入院後、アナフィラキシーショックにより死亡	1	0	1	
計		3	0	3	16%
合計		15(4)	4	19(4)	100%

（２）就業途上の事故

就業途上の事故は、表２－２のとおり、徒歩での事故が５件、自転車が４件、バイク１件、でした。就業途上の事故の中には、必ずしも本人に過失責任があるとは言えない事故もありますが、自転車は軽車両です。自転車による事故の多くは左側通行、一時停止を守ることにより防げるという調査結果もありますので、交通ルールを守ることはもちろん、自らの体力などを過信することなく、周りに十二分に注意を払っていただきたいと思います。

表２－２　令和４年度重篤事故の分析－就業途上－

交通手段	事故の場所	事故の内容	事故件数			
			死亡	入院	合計	比率
徒歩	交差点	就業先から帰宅途中、右折しようとしたトラックにはねられ死亡 早朝、就業先に向かうため自宅近くの交差点を横断中、右から向かってきた軽自動車にはねられ外傷性くも膜下出血、両足外傷性血気胸、右頭骨骨幹部骨折、恥骨骨折	1(1)	1	2(1)	
	道路	積雪や凍結でバスが来なかったため、徒歩で就業先へ向かう途中転倒し、頭部を打撲。自力でタクシーで帰宅し、救急車で病院へ運んだが死亡 就業後、自宅まで歩いていたところ、何らかの事情で転倒し後頭部を打ち仰向けに倒れているところを発見されたが死亡	2(1)	0	2(1)	
	自宅玄関	剪定作業の合間に休憩を取り、作業を開始しようと立ち上がったところ転倒、救急車を断り自力で運転して帰宅したが、玄関で横たわっており、救急車を要請したが、頭蓋骨骨折による脳ヘルニアにより死亡	1	0	1	
計			4(2)	1	5(2)	50%
自転車	交差点	就業場所へ向かう途中、道路を横断中に左方から来た自動車と衝突し、頭部外傷性脳挫傷 就業先から帰宅途中、右折の際、後ろから来た軽自動車と接触し、頭部打撲、肋骨骨折 就業先に向かう途中、幹線道路の信号のない場所を横断中に左側から来たトラックと接触、頭部を縁石に打ち、事故直後から意識不明	0	3	3	
	道路	就業先に向かう途中、直線道路で背後から車に轢かれ、外傷性くも膜下出血、頭蓋骨骨折などで約4ヵ月後に死亡	1	0	1	
計			1	3	4	40%
バイク	道路	帰宅途中、単独でスリップして転倒し、頭部を強打し、くも膜下出血、言語障害あり	0	1	1	
計			0	1	1	10%
合計			5(2)	5	10(2)	100%

令和５年４月（令和５年度）事故速報

（1） 重　篤　事　故

４月は、２件の重篤事故の報告がありました。

就業中・就業途上別にみると、就業中の事故は２件であり、令和４年度の０件と比して２件の増加となっており、また就業途上は、前年度同様ありませんでした。

４月報告分までの累計

令和５年度累計	就業中・就業途上	件数	内訳				令和４年度同月累計					
			事故の程度		性別			計	事故の程度		性別	
			死亡	入院	男性	女性			死亡	入院	男性	女性
	就業中	2	0	2	2	0	就業中	0	0	0	0	0
	就業途上	0	0	0	0	0	就業途上	0	0	0	0	0
	計	2	0	2	2	0	計	0	0	0	0	0

４月報告分内容

No.	性　別 等	仕事内容 等	事故の状況	安全帽	安全帯	交通手段
1	男 80 歳	就業 （入院）	墓地の草刈りを肩掛けエンジン式刈払い機で作業中、他の場所に移動の際、道で誤って転倒し顔面と肋骨を打った模様。頭部挫傷、肺挫傷。	○	×	―
2	男 81 歳	就業 （入院）	高さ約 2.5mのもっこくの木に高さ 120 ㎝の三脚梯子をたてかけ登り作業していたところつかんでいた枝が折れてバランスを崩し落下、頭部挫傷、首の骨折・脊椎損傷した。	×	×	―

編　集　後　記

新型コロナウイルスもインフルエンザ並みの５類に引き下げられ、今年のＧＷは人出も増加。 マスクの着用も個人の判断となり、街でも通勤電車の中でもマスクなしの人をちらほら見かけるようになりました。いつも利用しているコミュニティバスの座席も元に戻り、運転手さんとの仕切りもなくなりました。でも、ウイルスが消えたわけでもなく、また感染は拡大傾向。それでも、前とは違う新しい日常がやってきました。新緑の美しい季節は確実に進み、５月も下旬となりました。今年は寒暖差が激しい週や日も多く、体調を崩された方も多いことと思います。そして、もうすぐ梅雨。この時期は、まだ体が暑さに慣れていないため、熱中症が多発する時でもあります。熱中症の予防には、暑さを避け、こまめな水分補給が重要です。屋外での作業は、適度な休憩、水分補給をしながら、無理をしないで実施するようにしてください。今年度は熱中症による重篤事故が起きないことを願っています。（松山）

私の親友の息子が大学の新聞部でスポーツ記事を担当しており、彼の書いた記事に心を打たれたので紹介させていただきます。「きっと多くの人達はどこか『何か人と違うものを』『優れた才能が欲しい』と思うだろう。僕も取材する中で選手たちの活躍している眩しい姿やその裏にある血のにじむような素敵な努力に、正直、羨望の目を何回も向けたこともあった。けれど声を大にして伝えたい。元気に生きていられたらそれだけで幸せ、素敵、最高、あなたはあなたじゃないかと！」　彼は生まれつき心臓に持病を抱えており、成長するにつれ努力では越えられない壁を感じ、時には冷たい言葉を投げかけられたり、夢を諦めざるを得なかったり、それは誰のせいでもないことは理解しつつも自分ではどうすることもできない、目に見えない挫折を繰り返しながら強くなってきました。彼は家族の愛に包まれ、悩みながらも自己を確立し、自分にとってこの身体は普通であり、これは紛れもない個性であると語っています。私もついつい自分と人とを比較し「羨ましい」と思いがちですが、他人と比べてしまう思考、嫉妬心や劣等感、無駄なプライド、落ち込みの感情に心をかき乱されないように日々努力しなければ、と教えられました。彼の両親ともに中学時代からの友人であり、彼のことは赤ちゃんの頃から見ています。自分よりもずっと小さかった存在に、このように感動をもらい自分の生き方にまで影響を受けることになるとは感慨深いです。いつも冗談だらけの明るく元気なふざけた家族ですのでギャップがありすぎますが、誰でも皆、何かしらの悩みや問題を抱えながら前を向いているのだと感じた出来事でした。皆さんも頑張ってください！（髙木）